



2017年元日の
初日の出。
アジア研修センター
屋上から撮影。

あじけん通信

2017 January
VOL109

株式会社きぼう国際外語学院
企画・編集 澁谷 健司

新年明けましておめでとうございます。

平成29年が、いよいよスタートしました。実習生の皆さんは、新年早々2日から、日本語学習に励んでいます。寒さも一段と厳しくなっていますが、風邪などで体調を崩す実習生もなく、皆さん元気に頑張っています。お蔭様で、本校日本語講師・スタッフ一同も、無事新しい年を迎えることが出来ました。今年は、酉年。酉年は、「取り込む」に繋がるとして、商売繁盛の年と言われています。実習生の皆さんが、日本語を大いに「取り込んで」、安全かつ円滑に技能実習に取り組めるよう、全力で、サポートしていきたいと思っておりますので、本年もどうぞよろしくお願い致します。

あじけんスコープ Vol.50 ～実習生の人気スポット須賀神社～

今年第1回目のあじけんスコープは、実習生の皆さんに人気のスポット「須賀神社」をご紹介します。

研修センターから徒歩圏内（約3キロ）にあることから、週末のおさんぽコースの定番になっています。また、来日前に、日本文化について学習してきている皆さんにとっては、須賀神社は、日本の伝統文化を身近に体感できる場所でもあります。特に7月の祇園祭、お正月の初詣の時期には、多くの実習生から、須賀神社に行った話を聞くことができます。今年の元旦にも、多くの実習生の皆さんから、初詣に須賀神社を訪れた話を聞くことが出来ました。



今月の実習生

今月は、元旦に、友達と連れ立って須賀神社へ初詣に行ったベトナム人実習生のタムさんをご紹介します。その時の様子を書いた日報が素晴らしかったので、今回は原文のまま掲載させていただきます。



NGUYEN VAN TAM (タム)さん

・初めて日本へ行って、私にとって何も新しいです。生活、もの、人など。正月に友達と一緒に神社へ行きました、気持ちがいいです。親しいと感じます。日本で正月に神社へ行くを初詣でと言います。神社に大勢の日本人がいました。初めて神社へ行くから、何をしなければならぬか分かりません。それから日本人を見て、日本人のとおりに行きました。並んでいる時、たくさんまわりの景色を撮りました。
※わたしは家族の無事を神様に祈った。それからおみくいを引いたあと、おまじないをもらいました。わたしのおみくいは「小吉」です。
※神社にいる時、気分がよくなりました。こゝし日本に住んでいいます。いごと生活は大変でも、あきらめないです。いつも頑張ります
※皆さん、あけまして、おめでとうございます。

あじけん流日本語授業

インフォメーションギャップ(情報格差)を

活用した言語活動

～私たちの国のお正月料理～



今回は、4つの異なる出身国から構成されたクラスで行なわれたインフォメーションギャップを利用した活動例をご紹介します。テーマは、それぞれの国で食べられている代表的なお正月（新年）料理。出身国は、中国・フィリピン・ベトナム・インドネシアの4カ国。実習生の皆さんは、まず日本のお正月料理について学習し、その後、各グループに分かれて、自分たちの国の代表的な新年の料理を説明する資料を作成。その後、各グループが発表しました。皆さん、自分たちの国の料理をクラスメイトに知ってもらいたいとの思いから、準備から発表まで、とても熱心に取り組んでいました。また、クラスメイトの出身国の料理について知りたいとの思いから、発表後には、「それは、どんなあじですか?」「そのちょうみりょうは、にほんでありますか」など、これまでに学習した単語や表現を駆使して、積極的に質問し合う姿が見られました。異なった国や文化を持つ学習者が1つのクラスで学ぶ本校の授業スタイルは、教室内での言語活動に欠かせないインフォメーションギャップの宝庫と言えます。今後とも、この特徴を生かして、学習者が「伝えたい」「知りたい」ことをテーマにした言語活動を積極的に取り入れ、実習生の皆さんのコミュニケーション能力の向上に取り組んでいきたいと思ひます。



日本のおせち料理を紹介する講師



発表準備に熱が入る中国人実習生



レチョン（豚の丸焼き）を紹介するフィリピン人実習生



ジェスチャーを交えて熱心に発表するインドネシア人実習生



クラスメイトの質問に答えるベトナム人実習生

※当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます。